

2006 年度

科目名 環境と社会（総合講座）A	対象学科・学年 文学部日文2 回生 文学部英米2 回生 文学部文財2 回生 人間人社2 回生	担当者 池田 清
授業テーマ 人権 幸福 環境 自然保護		
授業の概要と目標 地球温暖化問題やゴミ問題また動物虐待や森林の大量伐採など、環境及びその中で生きる人間も含めた動植物について考えることは、我々自身の生き方やライフスタイルについて考え直すことである。これは、また根本的には我々人間の幸福とは何なのかと問い直すことでもある。環境倫理は、我々は誰でも幸福になる権利があるのに、実際は一部の人や未来の人が幸福になる権利を侵害しているのではないのか、また人間の幸福のために一部の動植物の生命を不当に犠牲にしているのではないのか、もしそうであるなら、我々はどうすべきなのか、こうしたことを環境との関係で考える学問である。		
評価方法 レポートにより評価します。		
テキスト テキストは使用しません。講義ノート中心。	著者	出版社
参考書 授業中、その都度指示します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 「環境倫理って何ですか」 ― 倫理学と応用倫理学 2 「幸福って何ですか」、「人権って何ですか」 ― 宗教と人権 法と人権 人権と幸福 3 「自然保護って何ですか」、 ― 保存と保全 アメリカ環境倫理思想史 4 「動物にも〈幸福〉に生きる権利があるのですか」 ― 自然の権利思想、動物解放論 5 「共生って何ですか」 ― ディープ・エコロジー レイチェル・カーソン 6 「地球温暖化って何ですか」、「京都議定書って何ですか」 ― 地球温暖化問題の新しさ、気候変動に関する国際連合枠組み条約、南北問題 7 「子供や孫の幸福のために、我々は何ができるのでしょうか」 ― 世代間倫理、フレチャット、ワーグナー、ヨナス ◎ 環境倫理は、今起きている事件や出来事と密接に関係しますから、無視できない事件や出来事が起きたときには、予定に変更があるかもしれません。 また週刊誌や新聞、テレビなど、何らかのマスコミ情報にも普段から目を配っておいて下さい。		